

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

研究課題名	わが国の糖尿病専門医の薬物療法における処方と患者背景の解析
対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
<p>対象者及び対象期間: 1996 年から直近に登録されたデータが使用可能な JDDM 患者を対象とする。</p> <p>研究責任者 藤原 和哉 新潟大学大学院医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科 025-368-9026</p>	
概要	
<p>これまでに糖尿病データマネジメント研究会(以下 JDDM)をはじめとするわが国の研究で、日本人は欧米と比較し心血管疾患の発症が少なく、これは使用可能な薬剤を適切に選択した成果を反映した結果と考えられ、中でも 1 剤目の選択は特に重要な意味を持つ。近年、DPP4 阻害薬、SGLT2 阻害薬の登場により選択肢が増えたが、専門医は患者背景を十分に考慮し、薬剤の選択を行っているはずである。しかしながら、経年的に新規処方薬と患者背景を詳細に検討した報告はない。そこで JDDM データベースを使用し、糖尿病患者における専門医の新規薬物処方と患者背景の関係を経年的に解析し、専門医の新規薬物処方と患者背景の関連の推移を把握する。また各薬剤の処方推移についても検討を行う。</p>	
申請番号	わが国の糖尿病専門医の薬物療法における処方と患者背景の解析
研究の目的・意義	<p>これまでに糖尿病データマネジメント研究会(以下 JDDM)をはじめとするわが国の研究で、日本人は欧米と比較し心血管疾患の発症が少なく、これは使用可能な薬剤を適切に選択した成果を反映した結果と考えられ、中でも 1 剤目の選択は特に重要な意味を持つ。近年、DPP4 阻害薬、SGLT2 阻害薬の登場により選択肢が増えたが、専門医は患者背景を十分に考慮し、薬剤の選択を行っているはずである。しかしながら、経年的に新規処方薬と患者背景を詳細に検討した報告はない。そこで JDDM データベースを使用し、糖尿病患者における専門医の新規薬物処方と患者背景の関係を経年的に解析し、専門医の新規薬物処方と患者背景の関連の推移を把握する。また各薬剤の処方推移についても検討を行う。</p>
研究期間	倫理委員会承認後～2025 年 3 月 31 日
情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	JDDM で匿名加工資料に処理したデータをセキュリティをかけて当院で受けとる。

	NTT コムウェア株式会社 東京都港区港南 1-9-1 03-5796-6491 へは、セキュリティーをかけ直接提供する
利用または提供する情報の項目	身長, 体重, 年齢, 性別, 経口血糖降下薬, インスリン治療, 降圧薬 血圧, 脂質値, 血糖値, 腎機能, HbA1c
利用の範囲	藤原 和哉 新潟大学大学院医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科 025-368-9026 新潟市中央区旭町通 1-757 宮村 幸祐 NTT コムウェア株式会社 東京都港区港南 1-9-103-5796-6491
10試料・情報の管理について責任を有する者	藤原 和哉 新潟大学大学院医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科 025-368-9026 新潟市中央区旭町通 1-757 宮村 幸祐 NTT コムウェア株式会社 東京都港区港南 1-9-1 03-5796-6491
11お問い合わせ先	藤原 和哉 新潟大学大学院医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科 025-368-9026 新潟市中央区旭町通 1-757

使用する際は、これを含む下の文章を全て削除してください。

オプトアウト書式は、倫理システムの申請画面末尾の添付資料欄に掲載すると共に、[ethics@adm.niigata-u.ac.jp](mailto:ethics@adm.niigata-u.ac.jp)へ原稿をお送りください。ホームページに掲載いたします。